

決算概要 をお知らせします。

一般会計決算

歳入

165億3,336万円

歳出

158億8,616万円

翌年度に
繰り越すべき財源

7,994万円

実質収支額

5億6,726万円

平成25年度の決算は、歳入165億3,336万円、歳出158億8,616万円、差引6億4,720万円で、翌年度への繰越事業に伴う繰越財源7,994万円を差し引いた実質収支額は、5億6,726万円の黒字となりました。

歳入では、みなさんに納めていただいている税金は29億6,440万円となり、人口減少等の影響を受け、前年度と比較して1億628万円減少しました。さらに、国から交付される地方交付税も減少し、市が自由に使えるお金が減少しています。また市債は、土地開発公社の債務整理に伴い、第三セクター等改革推進債（21億8,000万円）を発行したため、33億5,280万円となりました。

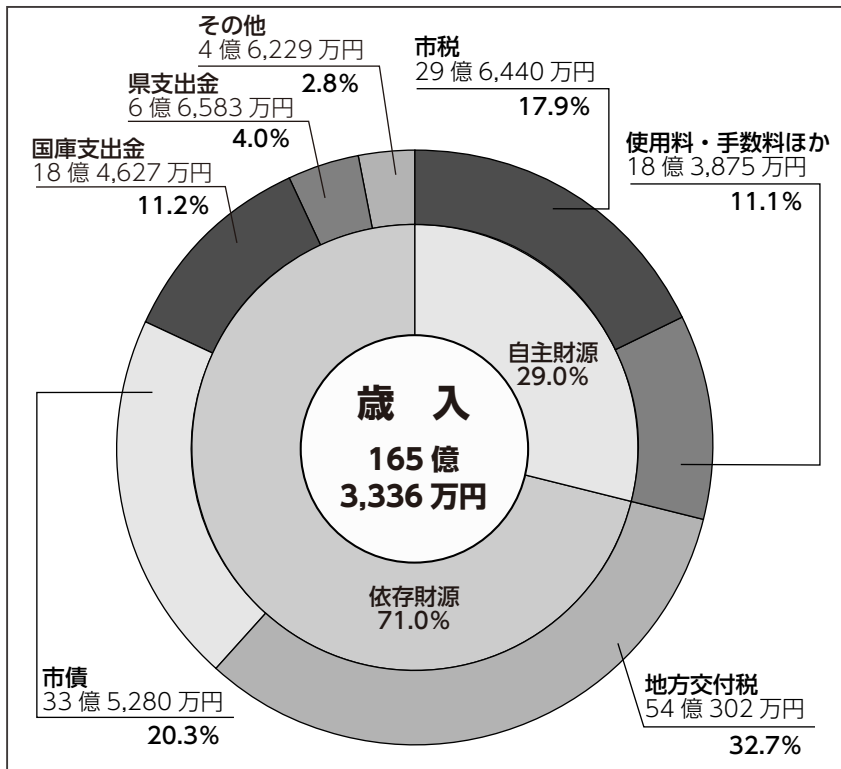
歳出では、土地開発公社解散に伴う債務整理を行うため、総務費にて債務補償金21億8,378万円を支出しました。その他、平成25年度に実施した主な事業は下記のとおりです。

実施した主な事業（一般会計）

総務費	○市制施行55周年記念事業	698万円
民生費	○老人福祉センター空調設備工事	201万円
	○市民意識調査実施費 市民2,000人を対象に、人権問題に関する意識調査を行いました。	86万円
衛生費	○中間処理施設整備事業 新炉建設を行うため、クリーンセンターの移設に伴い、事務所棟・ストックヤード等の建設に着手しました。	1億9,810万円
農林業費	○有害鳥獣対策事業 有害鳥獣を駆除するための補助を行い、農産物の保護に努めました。	275万円
土木費	○（仮称）葛城98号線整備事業	1億1,934万円
消防費	○防災センター建設事業 防災に関する知識の向上や防災意識の高揚を図るとともに、災害発生時の応急活動の拠点とするため、御所市防災センターを建設しました。	2億3,879万円
教育費	○学校耐震補強事業 秋津小学校の校舎耐震補強工事にかかる設計、および葛城小学校・名柄小学校の校舎耐震補強工事を行いました。	3,775万円
	○秋津地区史跡整備事業	803万円
	○学校給食センター施設改修事業 施設の老朽化に伴い、改修工事を行いました。	4,488万円

高齢化や人口減少等により、市税が減少傾向にある一方、医療・福祉等さまざまな財政需要に対応していく必要があるため、今後も厳しい財政状況が予想されます。引き続き、歳出の節減合理化に努め、計画的な財政運営を進めていきますので、市民のみなさんのご理解とご協力をお願いいたします。

一般会計決算 歳入総額 165億3,336万円



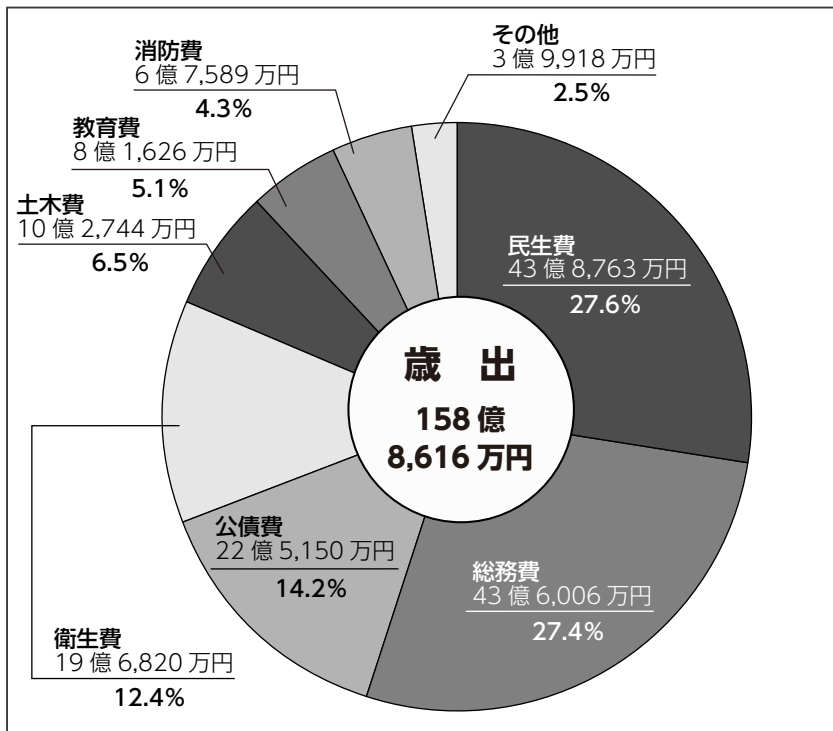
◎歳入

…市に入ったお金 (収入)

- 市税…市に納めていただいた税金
- 地方交付税…国が徴収した税金 (所得税など) の中から市の財政状況に応じて交付されたお金
- 市債…大きな事業を行うときに、国、県及び金融機関などから借り入れたお金
- 国庫支出金・県支出金…市が行った特定の事業に対して国や県から受けたお金

☆自主財源…市が自主的に収入できたお金
 ☆依存財源…国や県の基準に基づき交付されたり、割り当てられたりしたお金

一般会計決算 歳出総額 158億8,616万円



◎歳出

…市が使ったお金 (支出)

- 民生費…高齢者、障害者、児童などの医療・福祉などに使ったお金
- 総務費…市役所の管理運営、課税徴収、住民窓口、選挙、統計などの事務に使ったお金
- 公債費…市債 (借金) を返済するために支払ったお金
- 衛生費…保健衛生、健康管理、ゴミ処理などの生活環境に使ったお金
- 土木費…道路、公園、市営住宅などの整備や事務に使ったお金
- 教育費…小・中学校、幼稚園、社会教育、文化施設などに使ったお金
- 消防費…消防・防災活動に使ったお金

■問い合わせ先 行革財政課 ☎62-3001 内線232・233
 ▶「平成25年度決算」については、市のホームページでもご覧いただけます。
 ☞ <http://www.city.gose.nara.jp/zaisei/index.html>

平成 25 年度
一般会計決算額を
市民 1 人あたりで
見てみると

平成25年度一般会計決算額を、住民基本台帳人口2万8,350人（平成26年3月31日現在）で割り、市民1人あたりの収入や、かかった経費（支出）を算出しました。

収 入	58万3,187円	(内、市税収入額10万4,564円)
支 出 【経費】	56万 358円	(内訳)
		民生費 15万4,766円
		総務費 15万3,794円
		公債費 7万9,418円
		衛生費 6万9,425円
		土木費 3万6,241円
		教育費 2万8,792円
		消防費 2万3,841円
		その他 1万4,081円



会計別決算額

(単位：万円)
(△はマイナスを表します。)

会 計 名	歳 入 A	歳 出 B	差 引 C = A - B	繰越額 D	実質収支額 E = C - D	単 年 度 収 支 額	前 年 度 実質収支額	
一 般 会 計	165億3,336	158億8,616	6億4,720	7,994	5億6,726	862	5億5,864	
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険 事 業	38億8,038	42億3,336	△3億5,298	0	△3億5,298	△7,152	△2億8,146
	学 校 給 食 費	8,799	8,809	△10	0	△10	12	△22
	国 民 宿 舎 葛 城 高 原 ロ ッ ジ	9,931	9,878	53	0	53	△15	68
	下 水 道 事 業	7億4,521	7億4,503	18	18	0	0	0
	介 護 保 険 事 業	31億3,602	31億1,430	2,172	0	2,172	1,162	1,010
	後 期 高 齢 者 医 療 保 険 事 業	3億4,784	3億4,867	△83	0	△83	△120	37
企 業 会 計	会 計 名	収 入 A	支 出 B	当年度純利益 C = A - B	当年度未処理 欠 損 金	前 年 度 繰 越 欠 損 金		
	水 道 事 業 会 計 (収益的収支)	8億4,632	8億3,285	1,347	1億204	1億1,551		

■特別会計・企業会計■

特定の事業を行い、一般会計とは別に会計を行うのが特別会計です。
また、企業会計とは経済活動を一定の方式によって行う会計で、御所市では水道事業会計がこれにあたります。

<中和広域消防組合決算について>

会 計 名	歳 入 A	歳 出 B	差 引 C = A - B	繰越額 D	実質収支額 E = C - D	単 年 度 収 支 額	前 年 度 実質収支額
一 般 会 計	27億2,073	27億444	1,629	0	1,629	△1,421	3,050
消 防 救 急 デ ジ タ ル 無 線 整 備 事 業 特 別 会 計	4億2,859	4億2,834	25	0	25	15	10

中和広域消防組合は平成26年3月31日をもって解散し、4月1日からは奈良県広域消防組合において、役割を担っていくこととなりました。そのため、平成25年度決算については、奈良県広域消防組合の規約附則第2項により、中和広域消防組合を構成する各市町村において、決算の調製、審査及び認定を行うこととされています。

※平成25年度御所市一般会計歳入歳出決算をはじめとする計10の決算認定議案（中和広域消防組合決算等を含む。）について、御所市監査委員の審査に付した後、監査委員の意見書を付けて平成26年9月御所市議会定例会の認定に付しましたが、会期終了により審議未了となり、認定を受けておりません。未認定ではありますが、決算自体の効力には影響はありません。ここにお知らせします。

《一般会計》

市税・基金残高・市債残高から見る

財政状況

市税の状況

御所市の市税には、市民税・固定資産税・軽自動車税・市たばこ税・都市計画税があります。平成25年度の市税徴収率は92.8%で、前年度よりも上昇しましたが、収入額は1億628万円の減少となっています。人口減少による納税義務者数の減少により市民税のうち個人分が減少したことや、前年度は市民税のうち法人分に一時的な収入がありましたが、その特殊要因が無くなったことが影響していると考えられます。

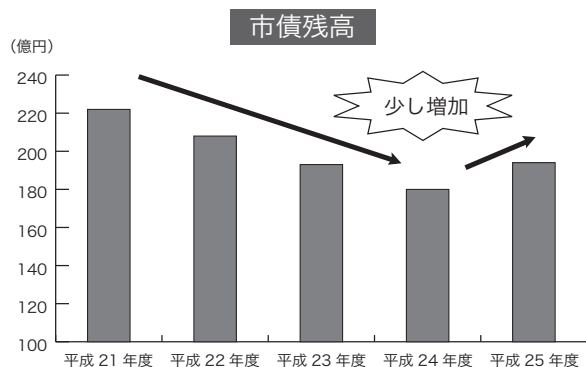
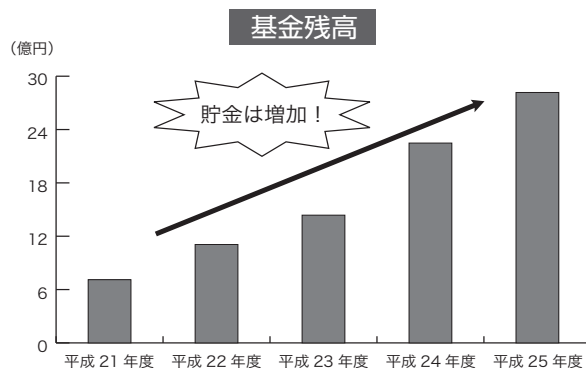
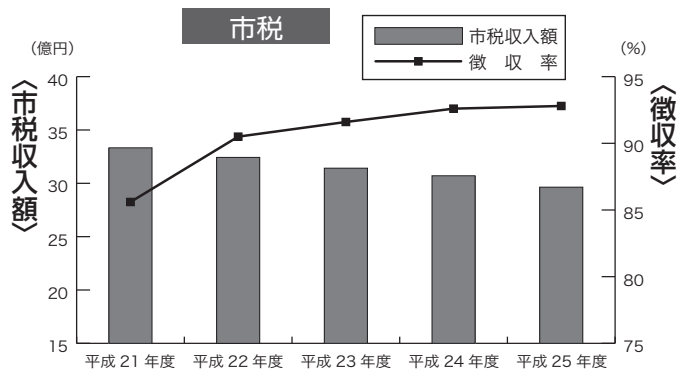
基金残高の状況

市の貯金である基金は、平成25年度末で28億1,717万円となりました。

市債残高の状況

市の借金である市債の残高については、新規発行の抑制や繰上償還の実施により減少してきましたが、平成25年度に土地開発公社解散に伴う負債の整理のために第三セクター等改革推進債(21億8,000万円)を発行したため、増加しました。

※土地開発公社解散にかかる詳しい内容については、御所市ホームページに掲載しています。



各種指標から見る 財政の健全度

平成25年度の一般会計の実質収支は黒字となっていますが、果たして健全な財政運営ができているのでしょうか？各種指標を使って見てみましょう。

※「早期健全化基準」とは、いわゆるイエローカードのことで、この基準を超えると「財政健全化計画」を策定し、財政の健全化に取り組みなければなりません。

健全化判断比率	項目	用語説明	平成25年度 (御所市)	早期健全化基準(※)
	実質赤字比率	一般会計を中心とした赤字の割合	-	13.79%
	連結実質赤字比率	すべての会計の赤字の割合	-	18.79%
	実質公債費比率	年間の借金返済額の割合	15.7%	25.0%
	将来負担比率	将来に負担が見込まれる負債の割合	148.5%	350.0%

「健全化判断比率」は早期健全化基準以下。しかし……

●**経常収支比率** (経常的な収入で経常的な支出をまかなえているかを見るための指標) は**101.3%**。
100%を超えると臨時的な収入や基金 (貯金) の取り崩しが必要な状況と言えます。

■問い合わせ先 行革財政課 ☎62-3001 内線232・233

🌐 <http://www.city.gose.nara.jp/zaisei/index.html>